



ペプチドリーム(東 1:4587)

バリュエーション判断
前回強気 ⇒ **強気**
(2017.11.8)
目標株価
4100 円 → 4600 円

取材:2018年2月13日

担当:池野 智彦

【非連結】 (百万円、%、円:予/エース経済研予想、Q/四半期累計)

| 決算期 | 売上高 | 伸率 | 営業利益 | 伸率 | 経常利益 | 伸率 | 当期利益 | 伸率 | EPS | 配当 |
|-----------|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-----|-----|
| 2018/6 2Q | 913 | - | -895 | - | -764 | - | -534 | - | - | 0.0 |
| 2016/6 | 4,327 | - | 2,548 | - | 2,372 | - | 1,581 | - | 13 | 0.0 |
| 2017/6 | 4,895 | 13 | 2,490 | -2 | 2,624 | 11 | 1,890 | 20 | 16 | 0.0 |
| 2018/6 会 | 7,000 | 43 | 2,900 | 16 | 3,100 | 18 | 2,100 | 11 | 17 | 0.0 |
| 2018/6 予 | 6,850 | 40 | 2,895 | 16 | 3,029 | 15 | 2,118 | 12 | 18 | 0.0 |
| 2019/6 予 | 8,300 | 21 | 4,650 | 61 | 4,564 | 51 | 3,258 | 54 | 27 | 0.0 |
| 2020/6 予 | 9,850 | 19 | 5,838 | 26 | 5,843 | 28 | 4,090 | 26 | 34 | 0.0 |

| 【セグメント情報】2018/6 2Q | 【PER】 | 【財務指標】 | 17/12末 |
|--------------------|-------|-----------|---------------------------|
| 創薬事業 | 100% | 18/6予 233 | BPS 97円 株価(2/13終値) 4,105円 |
| | | 19/6予 151 | 純資産 117億円 売買単位 100株 |
| | | 20/6予 121 | 総資産 124億円 発行株数 120百万株 |
| | | | 時価総額 4,931億円 PBR 42倍 |

<注目ポイント>

- ① 医薬品に適した特殊なペプチドを効率的に創り出す技術を持つ。
- ② 製薬企業が提示する創薬ターゲットに対して、最適なペプチド薬候補を提供する創薬共同研究開発契約を結んだ企業は 18 社。これらの企業から研究開発支援金を得るほか、ペプチド薬候補があらかじめ合意していた開発段階に到達すれば成功報酬も受け取る。
- ③ 2018/6 期 2Q(7~12 月)決算は、売上高 9.13 億円、営業損益は 8.95 億円の赤字。
- ④ 旭化成ファーマや塩野義製薬、米メルク、米リリーと合意していた開発段階に達したプロジェクトがあり、各社から成功報酬を得たほか、18 社目となる創薬共同研究開発契約を独バイエルと結び、契約一時金を得た。
- ⑤ 一方、米クリオとの技術提携費 3.1 億円を始め、新研究所への移転費用、減価償却費など、一過性のコストが発生したことが赤字要因。
- ⑥ 今期の成功報酬は下期に偏重しており、2Q 業績は会社側の想定範囲内。通期売上高 70 億円以上、同営業利益 29 億円以上という会社計画に修正無し。
- ⑦ 自社開発を進めていたインフルエンザ薬の毒性試験が終了、ライセンス活動に向け前進。

レーティングは強気継続

7 年間の長期業績予想を元に DCF 法から算定した目標株価は 4,600 円。

競争力のある創薬システムと製薬大手との提携実績から、レーティングは強気を継続する。

《アナリストによる宣言》

私、池野 智彦は本調査資料に表明された見解が、対象企業と証券に対する私個人の見解を正確に反映していることをここに証明します。
また、私は本調査資料で特定の見解を表明することに対する直接的または間接的な報酬は、過去、現在共に得ておらず、将来においても得ないことを証明します。

《利益相反に関する開示事項》

- エース証券株式会社(以下、エース証券)及びグループ会社は、本資料に掲載された企業の売買あるいは当企業に対し、引受、その他のサービスを提供する場合があります。
- 株式会社エース経済研究所(以下、ARI)は、エース証券との契約に基づき、エース証券への資料提供を一定期間、継続的に行うことに対し包括的な対価をエース証券から得ておりますが、本資料に対して個別に対価を得ているものではありません。
また、銘柄選定も ARI 独自の判断で行っており、エース証券を含む第三者からの銘柄の指定は一切受けておりません。
- 執筆担当者、ARI と本資料の対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等： エース証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第 6 号
加入協会： 日本証券業協会
指定紛争解決機関： 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

■手数料等及びリスクについて

●株式の売買には、約定代金に対して最大 1.242%の手数料(約定代金が 100 万円以下の場合、最低手数料 2,700 円)(税込み)が必要となります。●株式は、株価の変動により、損失を生じるおそれがあります。●上場有価証券等書面の内容をよくお読みください。●外国株式は、為替相場の変動等により、損失を生じるおそれがあります。●非上場債券(国債、地方債、政府保証債、社債)を当社が相手方となりお買い付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。●債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。●外国債券は、為替相場の変動等により損失を生じるおそれがあります。●商品毎(投信・外債含む)に手数料等及びリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客様向け資料をよくお読みください。

エース証券及び ARI 免責事項等

- 当資料により株式・債券・その他金融商品(投信・外債含む)等の勧誘を行うことがあります。本資料で言及した銘柄や投資戦略は、投資に関するご経験や知識、財産の状況及び投資目的が異なるすべてのお客様に、一律に適合するとは限りません。また、株式・債券等の有価証券の投資には、「手数料等及びリスクについて」に記載のとおり、損失を生じるおそれがあります。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願い致します。
- 本資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて ARI が作成し、エース証券(以下、当社)がお客様にご提供いたしますが、当社及び ARI は、ARI が基にした情報及びそれに基づく要約または見解の正確性、完全性、適時性を保証するものではありません。本資料に記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更することがあります。
- 本資料を利用した結果、お客様に何らかの損害が発生したとしても、当社及び ARI は、何らの責任を負うものではありません。

※(著作権等)・・・本資料に関する一切の知的財産権は、原則として ARI に帰属します。
電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、本資料の無断転用、複製等を行わないようお願い致します。